



令和7年 6月18日(水)
石垣市立白保小学校
TEL: 86 - 7840
FAX: 86 - 7396

沖縄慰霊の日によせて

戦後80年も経てば戦争を生き延びた人々も亡くなられたり高齢であったりするため、当時の体験を語っていただく活動もできなくなっていきます。最近の平和学習は、伝え聞いた事実に基づくお話を子どもたちに「語り継ぐ会」の方々の活動などで支えられています。しかし、それだけで平和な日々は訪れるはずもなく、周りに起きるあらゆる出来事を、様々な角度から様子を見聞きし考えることが大切です。今この瞬間も争いは各地でおこり、何の罪もない人々が犠牲になり命を落としています。一方的な見方や考え方で物事を見て判断し、自分に都合の悪いことはすべて悪と決めつけ、攻撃して排除しようとする考え方が世界を脅かしています。子どもでも分かることなのに、なぜ大人がその過ちをくり返すのでしょうか。



平和学習



「個人授業」「学園天国」といえば…

50代以上の世代ならばピンときますが、40代はギリギリ知っている世代でしょうか。沖縄育ちの5人組「フィンガー5」のことです。当時は出す歌が立て続けにミリオンセラーの大ヒット！今はもうほとんど見ることのない「レコード」を買いに走った人もいます。沖縄の歌謡ショーで優勝し、家族会議で東京行きを決めた5人はパスポートを持って上京したそうです。表紙には、「アメリカ合衆国」「琉球政府」と書かれてありました。「沖縄って靴もないんだらう？」東京の小学校に転校した、三男の正男にかけられた沖縄をバカにする言葉。「絶対に見返してやる！」という強い思いが、その後のエネルギーに変わったといえます。（2023 琉球新報小中学生新聞より一部抜粋）

今年は戦後80年の節目の年。沖縄の本土復帰から53年が経ちますが、毎年6月は沖縄戦の悲劇だけでなく、「沖縄が虐げられてきた歴史」や「復帰後も続くアメリカとの不平等」などに焦点をあてたニュースが話題になります。

さて、学校でも平和について学習する取り組みが行われます。「八重山戦争マラリアを語りつぐ会」の方々が来校し、各学年に応じた紙芝居を読み聞かせてくれます。多様な考えを持った人と共に生きていくために「平和」とは何か、自分たちにできることはどんなことかなど、「慰霊の日」を前に子どもたちに考えさせていきたいと思います。

「識名信升（しきなしんしょう）」この名前をご存知でしょうか。太平洋戦争末期に起こった八重山での悲劇に詳しい方はお分かりかと思いますが。80年前に西表島の南風見田（はえみた）の浜の石に、「忘勿石」（わすれないし）の文字と自身の名前を刻んだ人物こそ、この方です。当時は、波照間国民学校の校長として務めていました。詳しくはこちら↓をご覧ください。

「忘勿石」（わすれないし）～南風見田（はえみた）の強制疎開地を訪ねる～

先日、白保小の戦時中の歴史を調べようと、校長室の金庫から「沿革史」を取り出し見てみると、昭和15年4月に当時の白良尋常高等小学校（S16に白良国民学校と改名）の教諭として赴任された識名先生の名前を見つけたのです。（右上の画像赤線部分参照） 識名先生は、宮良分教場の5年生の担任でした。昭和16年は4年生の担任を務められ、

昭和17年に宮良分教場が宮良国民学校として独立したのを機にそちらへ転勤になりました。多分その後、波照間国民学校の校長として赴任されたと思われます。沿革史は、昭和19年6月の記録を最後に途切れており、昭和27年になるまで記録がありませんでした。おそらく、学校は授業どころではなく、毎日竹槍訓練や防空壕の穴掘りなどが行われ、戦後は休校などで混乱していた時期かと想像します。（私の前任の黒島校の沿革史にそう記述されていたことからの想像による）

識名信升先生が白保小の教師だったことを初めて知り、改めて歴史の重みと深さを感じました。



7・8月の行事予定

- 2日(水) お話朝会
6年シュノーケル体験
校外児童会(5校時)
- 3日(木) 6年租税教室
- 4日(金) 自転車安全教室
第1回漢字検定
- 7日(月) 5校時授業(～17日)
- 9日(水) クラブ③
- 18日(金) 1学期終業式
※4校時授業
- 21日(月) 白保豊年祭



22日(火) 個人面談
(～25日)



8月28日(木) 2学期始業式

白保小学校沿革史(現物)を撮影→

白保小の歴史に関わった人物

